

編集・発行
障害福祉サービス事業所
あるむ
〒242-0003
大和市林間 2-20-26
TEL.046-275-9520
FAX.046-275-9529

あるむの詩

2018年7月発行

第85号

NPO法人
共働あるむ

テーマ

あるむ、

こうなっていったら、いいな！！

○あるむ日誌 ○新人紹介 ○2018 年度総会議案書抜粋
○農園日誌 ○編集後記

印刷承ります。

あるむのホームページへどうぞ

URL <http://www.alm.or.jp/>



URLとアドレスが
新しくなりました！

ホームページ：<http://www.alm.or.jp>
メールアドレス：main@alm.or.jp

こうなったらいいな

井島 康人

冬休み、今はいいけれど、将来は正月もホームにいるので、休みが長いと困ります。

トイレの両側に手すりをつけてもらって、感謝しています。



あるむへの要望

伊津井 暁彦

あるむは、精神的に鍛えられるし、他の作業所より、工賃も高いので、ほんとうにありがたいです。ぜひ沢を言うと、有線を入れて

欲しいです。仕事がかどります。

あと、冬休みは、もう少し、少なくて良いと思います。特に、年始をもう少し、短くしてもいいと思います。

ちよつと思いつかない

けれど……

四宮 広隆

あるむ、こうなつていったらいいなというのは今は特に思いつきませんが、歩道での煙草と自転車が少ないと思います。



あるむ、こうなつて

いったら、いいな!!

村井 由美

私が思うあるむへの希望、それは何より、健常者が増え、障害者と共に働いてゆけることです。お互いに、考え、知識が共有出来、隔たりのない意識が生まれてゆくことでしょう。

また、今は印刷の依頼で、お客様が頻繁に来て頂いており、大変嬉しいですが、その他にも野菜や、製品を求めて来て下さるお客様が多くなれば更に嬉しいです。

その他、先のことも知れませんが、大和市の広報誌に「あるむ」が、少しでも、紹介されれば嬉しく思います。更に注文が増え、より、尊敬される会社になってゆくこと

を期待しております。

これからも宜しく
お願い致します。私
も頑張ります。



あるむ、こうなつて
いったら、いいな!!

堀場 敦

この機関紙をお読みいただいている方はご存知と思いますが、あるむは1984年（昭和59年）に私の兄が立ち上げ、今年で34年目になります。「働くこと、自分の力で働いて、お金を得て、生活して行く。そんな当たり前のことを、障がいのある者と障がいのない者が共に力をあわせてやってゆきた

い。」という理念のもとで今日に至っております。当時は補助金や給付金等もなく、印刷で売り上げた金額から経費を引いて残りの金額を所員、職員で分配していたそうです。

あるむのような障害福祉サービス事業所が必要なくなっていたらいいのではないかと思っています。こんなふうに書くのとドキッとされたいと思いますが、これは「障害福祉サービスというものに関係なく、企業として障がいのある者と障がいのない者が共に仕事して給料をもらう職場ができること。」と言うことです。その実現は大変だと思いますができないことではないと思っています。

話は変わりますが、これを書いている間の6月18日7時58分に大阪北部地震が起きました。震度6

弱で犠牲者もあり、大変だったことがわかります。関東も千葉県沖でスロースリップが起きており、大きい地震が起きないか心配ですし、南海トラフ地震も心配です。また、ハワイのキラウエア火山をはじめとして地球規模で火山活動も活発化しています。東日本大震災から7年が経過し、防災意識が薄くなりはじめていると思います。が、常に何が起きてもいいように日々の備えが必要であることをあらためて感じています。



あるむ、こうなつて
いったら、いいな!!

山田 鉄郎

私は、畑班で畑に行くのが楽しみです。

体験期間で畑の石を拾い、畝を作り、種を蒔き、また苗を植え、水をやり、その野菜が生育し収穫することの達成感があり、あるむに入所出来て良かったと思います。

これからあるむも人それぞれに、種を蒔き、苗を植え、水をやり、個性豊かな作業所になっていくつくればいいなと思います。



あるむ、こうなつて
いったらいいな!!
というよりも……

長田 和子

「あるむ、こうなつていたらいいな!!」と言う事ですが、あるむのスタッフ、メンバーさんはいい人ばかりでいつも助けられているのでこれ以上、あるむに望む事は無い。しかし自分の都合で、あるむに出れない時期が多々あったので、自分がこうなつたらいいな!!と思う事は山程ある。

例えば、見ためスツキリしたいからやせたいとも思っているが、去年カーブスを休みだしてから、みるみるうちに体重、体脂肪とも増え、思う様にダイエットできない。あるむにも、もったときちゃんと

出れる様になりたいと思つてはいるが睡眠が上手くとれなかったり、体調が季節の変わり目のせいか、良くなかったりして、休んだり、早く早退したり遅刻したりしてしまふ。なかなか上手く行かない。

そんな私なので、あるむこうなつていったらいいな、ということよりも自分、こうなつたらいいなと思う事の方がたくさんあります。あとトイレが近いせいで、朝はバスにのったりしているのと、畑もトイレの近さが気になり行きたくても中々行けないのであるむ、こうなつたらいいな!!と思う事よりも、自分が水分なんとか調整しなくてはと思つてはいるが水分を取りすぎてしまつたりする。水分だけでなく食事でも取りすぎてしまう。なので自分の思う様に人生、中々、進まないのが現実である。

あと睡眠が上手く取れず、早朝覚醒で起きたりもするので、睡眠をきちんと取って眠りを良くしたいというのが目標です。

冗談で「あるむこうなったらいいな!!」と言ったら給料が上がれば良いと言ったが、私の場合は給料が上がるよりも、自分が出れる日数、時間を増やしていくのが今後の課題です。

あるむのこいを



池田 孔一郎

あるむは職員の方の対応や、水分補給等従業員の人達が働くための環境が充実していると思います。ただ気になる所は集計表とパソ

コンとの間付近にミシミシと音があるので床が抜けないか心配です。あとは野菜を店の外に無防備に置いた感じの売り方のままだと盗まれないか心配なので監視カメラを設置できたらいいんじゃないかなと思います。



あるむ、こうなったら

いいな!!

小泉 佳子

みんな、しょくばではたらくことはいいなとおもいます。私はなかないようにします。あるむでみんなにかんしゃしています。私は、あるむでがんばります。



働くことを喜び

楽しめるあるむ

藤田 マスエ

あるむはいつまでも今の状態の延長線上で、色々な人を受け入れていく事業所として発展していくのだろうな……と漠然と考えていたので、今回のテーマでハッとなりました。

理想的なのは創立当初から言われてきたことですが、通所されている方々が一人ひとりに合う仕事をする事ができ、あるむに通所して働くことで年金と合わせて自立した生活ができるようになるということでしょう。

さらにもっと地域に開かれて、さまざまな人や団体や企業等からサポートを受けながら、障がいを

持つているとかいないとかに縛られず、誰もが立ち寄れる場所になれたらなあと思致します。

私は来年の3月で定年退職となりますので、今後のあるむについてはみなさんに考えていただくことにして、当面は障がいがあってもなくても、気持ちよく働き、働くことを喜び樂しめるあるむであってほしいと願っています。あるむをずーっと応援していきますよ！



あるむ・こうなつて
いくといいな!!

川 誠司

あるむが、誕生したのは今から

三十四年前の一九八四年十一月、この頃はまだ無名だった当所（あるむ）は発起人でかつ初代所長の故・堀場信昭所長（現・堀場敦所長の兄）の尽力によつて大和市西鶴間四丁目の住宅地の一角、木造アパート・グリコ荘（今現在は残っているかは？分らない）の下半分（店舗スペースのみ）を借りて運営をしていた。（後に、人数が増えて手狭まになり二階も借りる。）

たので、一日中（営業時間内に）爆音と、耳をつんざく様な轟音（うおん）がしていたので、左右の耳が変になってしまいそうになりました。

そんな中、開所（八十五年）当初から（現在も在所している）私は、こんな騒音がひどい中、果たして仕事（名刺など）を出して（注文）くれるお客様がいるかどうか正直なところ不安になっていました。

またその頃、故・堀場信昭所長の考え？は以下のようなだったのではないかと思ひます。

「西鶴間（大和市）の一角に印刷工房が出来た（完成）ものの、どう運営したらいいのか、分かんないな。作業所の認可が、もらえるだろうか？...」

開所当時・当所（あるむ）上空は米軍機の飛行コースになっていた

作業所（開所時、無認可状態）の認可がもらえなかった場合は、

今まで実行（認可の為の運動）して来た事が水の泡、つまり台無しになってしまふ。

やはり私には作業所（あるむ）をやって（運営していく事）いくことが出来ない。かと思つたのに違いありません。

「一九九三年（平成5年）はどんな年になりますか」というあるむの詩16号のテーマでは、本文の中心に以下のような、元後輩の文章が載っていました。

「僕たち・私たちは、何かのきっかけがないと、障害者（障害を持つている人）だけではなく色んな人と交流する機会はありません。」と書いてあった。

常に、お客様が喜ばれる製品を作り、障害を持つている人でもやれば出来るって事を知ってもらいたい。

確かに現在のあるむは、二十五年前から変わらない、それがあるむの接し方だと思ふのです。

一九九二年（二十六年前）の五月に、作業所としての認可が大和市から下りた当所（あるむ）は社名を二転三転（心身障害者共働作業所あるむから障害者地域作業所あるむへ変更、八年前の二〇一〇年にはNPO法人格を取り、NPO法人共働あるむ）しながら、今日（現大和市林間）に至っています。

これからも私共あるむは、町の印刷屋さんとして愛され続けていきたいと思つています。



あるむ、こうなつて
いつたらいいな!!

藤原 路恵

畑の拡大：野菜の加工販売、人員増加、事業所拡大、ボランティア介入などなど：売上増大：皆の賃金アップ……！

なんて考えるときりがなくて夢のようだけれど、やはり畑担当者としてはいついそちらに考えが及んでしまうのです。ですが「あるむ」がどんな風になつていても、「あるむ」は「あるむ」らしく（あくまで私個人が感じるアットホーム的な「あるむ」らしさを）、独特の雰囲気を持つて、それだけは変わらず皆で成長していけたらいいと願います。



あるむ、こうなったら
いいな!!

伊藤 悦子

これまでに、たくさんの人達があるむと関わってきた。そのたくさんの人達の、あるむが「こうなったらいいな」、「こうなってほしい」という想いとともに、歩んできた。それぞれの想いは違っても、この先もたくさんさんの「こうなったらいいな」という想いを実現できるようなあるむであってほしい。



あるむ日誌

2・6 10時30分くらいにダイアミツクさんが来所され、CTPの点検キャンペーンによる点検を行ってもらい、ホース類の交換をしてもらいました。15時過ぎにやまねつとさんに行き、耕運機を貸していただきました。大切に使用させていただきます。

2・7 14時30分から保健福祉センター3階機能訓練室で機能訓練（卓球）を行い、所員、職員合わせて8名が参加しました。

2・14 今日からイオンモール大和鶴間店で県央障作連まごころ製品展示即売会です。あるむの担当は16日13時からです。たくさん売れるといいですね。

2・16 イオンモール大和鶴間店で行われている県央障作連まごころ

る製品展示即売会も本日で終了です。県央障作連の皆さん、店番をしたみなさん、お疲れ様でした。

2・19 16時から保健福祉センター1階カフェ・スプンティーンで会議が行われ、堀場が出席しました。

2・26 朝礼後アイロンから出火し、東風という前提で避難訓練を行い、こども広場まで避難しました。所員、職員合わせて18名が参加しました。16時30分にあるむで大和精神事業所連絡会が行われ、パン工房麦の香りさんが参加され、各事業所の様子、4月からの報酬改訂、その他について話をしました。次回は3月19日でパン工房麦の香りさんでおこなうことになりました。

3・5 今日からYさんが体験さ



れます。5日間頑張つていきましよう。

3・9 5日からYさんが体験されていましたが、今日が最終日です。お疲れ様でした。

3・13 四宮秀惠さん、夏子さんから会費納入時に寄附をいただきました。いつもありがとうございます。

3・14 14時30分から保健福祉センター3階機能訓練室で機能訓練（卓球）を行い、所員、職員合わせて7名が参加しました。

3・15 小林高雄さんから会費納入時に寄附をいただきました。ありがとうございます。16時から保健福祉センター1階カフェ・スプンティーノで会議が行われ、堀場が出席しました。17時から厚木市民交流プラザ・アミューあつぎで県央障作連職員研修会が行われ、藤

原が出席しました。

3・16 9時30分から神奈川労働衛生福祉協会で健康診断を行い、所員17名が参加しました。

3・19 16時30分からパン工房麦の香りさんで大和精神事業所連絡会が行われ、堀場が出席しました。

3・21 清水美和子さんから会費納入時に寄附をいただきました。ありがとうございます。

3・23 10時にあるむを出発し、南林間から小田急江ノ島線で片瀬江ノ島に行き、イル・シャンテというレストランで昼食をし、その後新江ノ島水族館に行きました。所員、職員合わせて18名が参加しました。結構疲れましたね。週末はゆっくり休んでください。

3・26 朝礼後の所員会議で代表、副代表の投票を開票し、代表は伊津井君、副代表は福岡さんで、今

年度と同じになりました。来年度もよろしく願いました。先々週体験していただいたYさんが今日から正式に入所されます。一緒に頑張つて行きましょう。新倉正枝さんからウエスとお菓子をいただきました。いつもありがとうございます。所員関水君のお宅からジュースをいただきました。ごちそうさまです。

3・30 日下千鶴さん（元所員日下さんのお嬢さん）が来所され、お菓子をいただきました。ごちそうさまです。



4・2 元運営委員長の伊藤悦子さんからお菓子とウエスをいただきました。いつもありがとうございます。

4・4 14時30分から保健福祉

センター3階機能訓練室で機能訓練（卓球）を行い、所員、職員合わせて10名が参加しました。

4・5 13時から鶴見公会堂で報酬改定説明会が行われ、堀場が出席しました。今年度から就労継続支援B型は平均賃金で報酬単価が決まります。

4・9 13時30分からJAさがみ本所にて農業塾が行われ、藤原が出席しました。1年間頑張ってください。

4・11 15時15分から定例職員会議のあとに個別支援会議を行いました。

4・16 16時30分から大和精申事業所連絡会がクレイヨンピーさんで行われ、あゆみの家さん、パン工房麦の香りさん、ホープ大和さんが参加されました。

4・17 14時から神奈川県民ホー

ル小ホールで県事業者説明会が行われ、堀場が出席しました。

4・20 18時から法人の会計監査、理事会が行われ、総会の日程、議案書の内容について検討し、総会は5月19日（土）に決まりました。

4・24 16時から保健福祉センター1階カフェ・スプリンティノで会議が行われ、藤原が出席しました。

4・26 所員池田君のお母さんが来所され、お菓子をいただきました。ごちそうさまです。



5・2 14時30分から保健福祉センター3階機能訓練室で機能訓練（卓球）を行い、所員、職員合わせて11名が参加しました。

5・7 13時30分からJAさがみ本所にて農業塾が行われ、藤原が出席しました。

5・8 座間市立東中学校PTA広報委員の方が来所され、今年度の打合せを行い、お菓子をいただきました。いつもありがとうございます。施設賠償責任保険でお世話になります。住友生命の林さんが来所され、お菓子をいただきました。ごちそうさまです。

5・9 生涯教育研究会さんが印刷の打合せで来所され、巻き寿司をいただきました。ごちそうさまです。イオン鶴間大和店さんから黄色いレシートの寄付をいただき、お茶菓子と交換しました。いつもありがとうございます。

5・10 17時から厚木市民交流プラザアミューあつぎで県央障作連所長会議が行われ、堀場が出席しました。

5・14 13時30分からJAさがみ本所にて農業塾の作業を藤原が行

いました。

5・15 塩原好さん（所員塩原君のお母さん）からお菓子をいただきました。いつもお気遣いありがとうございます。

5・19 14時から特定非営利活動法人共働あるむの定期総会が行われ、正会員10名が参加し、第1号議案から第4号議案まで承認されました。今議案では定款変更がありました。今議案では定款変更がありました。県への届出で県知事の認証が行われます。また、役員の選任も行われ、全員重任ですが、財産も含め登記が必要です。

5・21 16時30分からあるむで大和精神事業所連絡会が行われ、フレッシュゾーン・ボイスさん、パン工房麦の香りさん、あゆみの家さん、クレイヨン・ピーピーさんが参加され、各事業所の様子等について話をしました。

5・22 16時から保健福祉センター1階カフェ・スプリンティーノで会議が行われ、堀場が出席しました。

5・24 11時に作業を終えてイオン大和鶴間店のフェスタガーデンに移動し、11時30分から山田さんの歓迎会を行い、所員、職員合わせて24名が参加し、バイキングの昼食を楽しみました。山田さん、これからもよろしくお願いいたします。



熱中症に 気をつけよう!!

熱中症は
予防が大切



新人紹介

はじめまして、今年の3月末から入所しました山田鉄郎と申します。

あるむ（所員）のなかでは最年長？の61才になります。

趣味はスポーツ観戦で、特にテニスの錦織選手の試合を欠かさず観ています。

性格は、口下手で自分から率先していくタイプではないので、慣れるのに時間が掛かるかと思いますが、よろしく願います。

山田 鉄郎



2017年度事業報告書

2017年4月1日から2018年3月31日まで

特定非営利活動法人 共働あるむ

1 事業の成果

(1) 「就労困難な障害者に対して、共に協力して運営し豊かな職業生活をするための福祉的就労の場を提供し、障害福祉の増進を図り、広く公益に寄与すること」とする当法人の「目的」(定款・第3条)を達成するために、神奈川県・大和市行政当局のご指導ご協力の下、市内他事業所および神奈川県障害者地域作業所連絡会をはじめ、社会福祉協議会や福祉団体連合会さらに地域の自治会などの諸団体との交流・連携・共同を通して、福祉的就労と障害福祉の一端を担うことができました。

2018年3月31日現在正会員39名、賛助会員87名

(2) 障害福祉サービス事業所あるむは、「自分の力で働いて、お金を得て、生活して行く。そんな当たり前のことを、障がいのある者と障がいのない者が共に力をあわせてやってゆきたい」という理念に賛同し「あるむ」の活動に参加する障がい者を所員とし、所員の援助者として「あるむ」に参加する者を職員として、印刷事業はあらたな製品への取り組みと他の事業は順調に推移いたしました。

(3) 指定障害福祉サービス(就労継続支援B型)事業所への移行から8年が経過し、他サービス利用の退所者、新規入所者もあり、登録者は26名で平均出勤率は約15.6名となっております。印刷事業は売上金額の減少が続いており、新年度ではニーズへの対応と営業戦略が必要です。順調に前進している紙漉作業、新農地で再スタートした農作業は今夏の生産物販売が期待されます。

(4) 東日本大震災の教訓から防災用品を整備し、避難訓練も行っていますが、南海トラフ地震、首都直下地震も予想されるため、引き続き非常時の備えをしています。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 障害福祉サービス事業所あるむの運営に関する事業

- ・ 内容 就労困難な在宅障害者に対して福祉的就労の場を提供する。
- ・ 日時 通年
- ・ 場所 大和市林間2-20-26
- ・ 従事者人員 5人(常勤職員5)
- ・ 対象者 就労困難な障害者 20人(定員) / 26名(在籍)
- ・ 支出額 46,270,267円

活 動 計 算 書

特定非営利活動に関わる事業会計

2017年4月1日から2018年3月31日

特定非営利活動法人 共働あるむ

科 目	金額(単位:円)		備考
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	180,000		36×5000
賛助会員受取会費	160,000		80×2,000
受取入会金	0	340,000	0×5000
2 受取寄附金			
受取寄附金	194,547	194,547	年末助け合い50,000
3 受取助成金等			
受取民間助成金	0		
訓練等給付費収入	29,915,306		
受取地方公共団体補助金	1,440,000	31,355,306	
4 障害福祉サービス事業収入			
印刷事業収入	12,877,872	12,877,872	
5 その他収益			
受取利息	63		
雑収益	149,800	149,863	
経常収益計		44,917,588	
II 経常費用			
1 障害福祉サービス事業費			
(1) 人件費			
人件費	5,807,061		所員賃金(通所交通費、福利厚生費含)
人件費計	5,807,061		
(2) その他経費			
原材料費	3,607,070		
外注加工費	2,167,677		
減価償却費	566,277		通信運搬費、修繕費、旅費交通費、租税公課、支払手数料等
その他事業費	628,696		
その他経費計	6,969,720		
事業費計		12,776,781	
2 管理費			
(1) 人件費			
人件費	25,859,954		職員賃金(通勤費、法定福利費、福利厚生費含)
人件費計	25,859,954		
(2) その他経費			
消耗品費	288,702		
水道光熱費	591,039		
地代家賃	3,816,498		
減価償却費	1,075,709		
保険料	204,327		
租税公課	666,400		消費税等472,700/償却資産税162,200
接待交際費	41,268		
その他管理費	949,589		会議費、旅費交通費、車両費、通信費、修繕費、諸会費、支払手数料、車両燃料費等
その他経費計	7,633,532		
管理費計		33,493,486	
経常費用計		46,270,267	
当期経常増減額		▲1,352,679	
III 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	
経常外収益計			
税引前当期正味財産増減額		▲1,352,679	
当期正味財産増減額		▲1,352,679	
前期繰越正味財産額		23,883,828	
次期繰越正味財産額		22,531,149	

2018年度事業計画書 (案)

2018年4月1日から2019年3月31日まで

特定非営利活動法人 共働あるむ

1 事業目的

「就労困難な障がい者に対して、共に協力して運営し豊かな職業生活をするための福祉的就労の場を提供し、障害福祉の増進を図り、広く公益に寄与すること」とする当法人の「目的」〈定款・第3条〉を達成するために、特定非営利活動に係る「障害福祉サービス事業」として、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）に基づく障害福祉サービス事業所あるむの運営を行う。

2 事業方針

「自分の力で働いて、お金を得て、生活して行く。そんな当たり前のことを、障がいのある者と障がいのない者が共に力をあわせてやってゆきたい」というあるむの理念・目的に賛同し「あるむ」の活動に参加する障がい者を所員とし、所員の援助者として「あるむ」に参加する者を職員とし、NPO法人共働あるむのさらなる発展をめざすとともに、こうしたあるむの活動への賛同者・支援者・協力者を募り、NPO法人共働あるむの会員拡大に努めます。

第一に、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）の障害福祉サービス事業所に移行して8年が経過しました。職員には積極的に研修に参加してもらい、資質向上に努めます。

第二に、印刷部門では大判インクジェットプリンタ及びカードプリンタを活用した印刷製品の多様化に対応し、本年中にサポート期間満了するオンデマンド印刷機の入替えを行うことにより売上向上を目指します。紙漉作業では昨年に引き続き商品開発・販売体制の強化に努めます。農作業は新たな用地での生産と販売の拡大をめざします。また、新たな分野の作業を開拓するための検討を行います。

第三に、関係機関の協力を得て、希望者は一般就労をめざして支援します。

第四に、防火管理上必要なこともあり、関係機関や自治会等の協力を得て避難訓練、防火訓練を行うとともに研修への参加を計画します。また、防犯管理への取り組みも強化します。

3 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 障害福祉サービス事業所あるむの運営に関する事業

- ・内容 就労困難な在宅障害者に対して福祉的就労の場を提供する。
- ・日時 通年
- ・場所 大和市林間2-20-26 サンビレッジ南林間1階
- ・従事者人員 5人（常勤職員5）
- ・対象者 就労困難な障害者（定員）20人
- ・費用見込額 約47,751,000円

活動予算書(案)

特定非営利活動に関わる事業会計

2018年4月1日から2019年3月31日

特定非営利活動法人 共働あるむ

科 目	金額(単位:円)		備考
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	200,000		40×5000
賛助会員受取会費	180,000		90×2,000
受取入会金	5,000	385,000	1×5000
2 受取寄附金			
受取寄附金	200,000	200,000	年末助け合い50,000
3 受取助成金等			
受取民間助成金	0		
訓練等給付費収入	31,000,000		
受取地方公共団体補助金	1,440,000	32,440,000	
4 障害福祉サービス事業収入			
印刷事業収入	14,500,000	14,500,000	
5 その他収益			
受取利息	0		
雑収益	130,000	130,000	
6 研修旅行費個人負担			
研修旅行費個人負担	100,000	100,000	20×5,000
経常収益計		47,755,000	
II 経常費用			
1 障害福祉サービス事業費			
(1) 人件費			
人件費	6,330,000		所員賃金(通所交通費、福利厚生費含)
人件費計	6,330,000		
(2) その他経費			
原材料費	3,700,000		
外注加工費	2,200,000		
減価償却費	570,000		
その他事業費	1,066,000		通信運搬費、修繕費、旅費交通費、租税公課、支払手数料等
その他経費計	7,536,000		
事業費計		13,866,000	
2 管理費			
(1) 人件費			
人件費	25,950,000		職員賃金(通勤費、法定福利費、福利厚生費含)
人件費計	25,950,000		
(2) その他経費			
消耗品費	300,000		
水道光熱費	600,000		
地代家賃	3,800,000		
減価償却費	1,100,000		
保険料	210,000		
租税公課	670,000		消費税等400,000/償却資産税300,000
接待交際費	20,000		
その他管理費	1,235,000		会議費、旅費交通費、車両費、通信費、修繕費、諸会費、支払手数料、車両燃料費等
その他経費計	7,935,000		
管理費計		33,885,000	
経常費用計		47,751,000	
当期経常増減額		4,000	
III 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	
経常外収益計			
税引前当期正味財産増減額		4,000	
当期正味財産増減額		4,000	
前期繰越正味財産額		22,531,149	
次期繰越正味財産額		22,535,149	

あるむ農園日誌

初めての畑での初収穫（ほうれん草とリーフレタス）も無事終了し、2番手のじゃがいも・キタアカリもそうか病にかかってしまい早期収穫になってしまったものの、見事な大収穫となりました。ニンジンも前回は発芽に失敗し収穫と呼べるものではありませんでしたが、今回はよく調べ慎重に行ったかいがあり、目一杯の発芽をみることが出来ました。お陰様で今年も6月半ば、いよいよ夏野菜も収穫が始まったところです。

暖かくなって野菜の育ちも早く喜びもひとしお。けれどその反面で雑草の育ちも早く、昨年の雑草の影響は思ったよりも厳しいものでした。ほぼ毎日のように皆さんと畑へ行き、また職員が時間外に行って作業するも全く追いつかず。すでに畑へ植え替えていなければならないジャンボラッカセイの苗も未だポットの中。サツマイモの苗も植え替え出来ずにいます。それでもまだ今は、長さんが畑の半分を担ってくれている分救われているというところでしょうか。元々以前より広い農地を借りるにあたりボランティアさんは必須と考え募集をしていたのですが、なかなか見つからずとても困っています。野菜作りに興味の有る方、雑草むしり等お手伝いして下さる方、是非「あるむ」までご連絡下さい。報酬は穫りたての新鮮な野菜です。

3月 ほうれん草の種まき。レタス・ジャガイモ苗植え。サツマイモ伏せ芋。

4月 ニンジン・キュウリ・オクラ・モロッコいんげんの種まき。ナス・アイコ・中玉トマト・ピーマン・ゴーヤ・サトイモ苗植え。

5月 ほうれん草・レタス・ジャガイモ収穫終了。ジャンボ落花生の種まき(ポット)。ショウガ苗植え。

6月 ジャンボ落花生・サツマイモの苗の植え付け。

藤原 路恵

編集後記

今回、初めて編集長をさせて頂きました、村井です。皆さんにハードルが高いと思うテーマを掲げてしまったかなとも思いますが、大きな夢を持つのも大切だと思います。それでも頑張つて、それぞれの夢を考えて下さいました。ご苦勞様でした。

皆、一丸となって、徐々に夢を叶えてゆきましょう。

ご協力頂き、有り難うございました。

編集長 村井 由美



▲オクラ



▲ゴーヤ

▼サツマイモを植えました。

